

都留市地域公共交通会議が発足しました

市では、市民の生活に必要な公共交通機関の維持及び利用者の利便の増進を図るため、道路運送法に基づき、6月29日に「都留市地域公共交通会議」を設置しました。

会議は、公募による市民、交通事業者、関係行政機関の職員など15人の委員及び3人の幹事で構成しています。市が主宰者となり、地域の関係者により、公共交通の利用地域の実情に応じた乗合旅客運送の態様及び運賃・料金、事業計画などについて協議を行います。

市内の公共バスの現状は、次のとおりです。今後、ますます利用客数の減少が予想されますので、これまで以上に、事業者、行政、また、市民も含めた地域全体での取り組みが、必要となります。

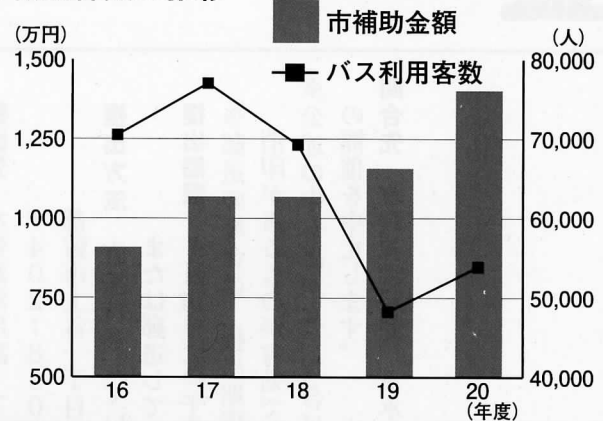
この地域公共交通会議を通じ、バスを利用する方も、利用しない方も理解と納得が得られる公共バスの活用のあり方について、多様な視点から検討していきます。

年度別の市補助金とバス利用客数の推移

	市補助金額(万円)	バス利用客数(人)
平成16年度	906.4	70,509
平成17年度	1,065.8	77,004
平成18年度	1,065.8	69,925
平成19年度	1,154.9	48,260
平成20年度	1,400.0	53,897



交通弱者と呼ばれる市民の足の確保のため、補助金額は増えているけど、バス利用客数は減っています。

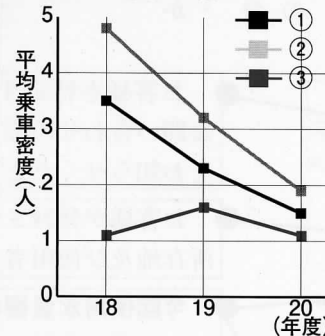


年度別の平均乗車密度の推移

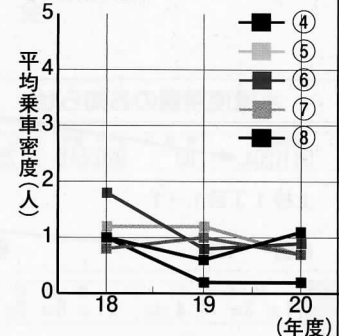
路線		平均乗車密度(人)		
		18年度	19年度	20年度
都留・月夜野線	①市立病院－月夜野	1.1	1.6	1.1
	②月夜野－桂高校	4.8	3.2	1.9
	③月夜野－桂高校	3.5	2.3	1.5
宝鉾山線	④都留市駅－宝鉾山	1.0	0.6	1.1
	⑤都留市駅－宝鉾山	0.8	1.0	0.7
	⑥都留市駅－つぎ	1.8	0.8	0.9
	⑦都留市駅－つぎ	1.2	1.2	0.7
	⑧都留文大前－宝鉾山	1.0	0.2	0.2
上戸沢線	⑨都留市駅－芭蕉月待ちの湯	0.4	0.1	0.1
	⑩市立病院－芭蕉月待ちの湯	0.6	0.6	0.5
	⑪都留市駅－芭蕉月待ちの湯	0.7	0.6	0.6
曾雌・秋山線	⑫都留市駅－釣場	1.0	0.3	0.4
	⑬都留市駅－釣場	1.4	0.9	1.0
	⑭市立病院－曾雌	2.5	0.4	0.6
	⑮都留市駅－曾雌	0.1	0.1	0.0
菅野・道志線	⑯都留市駅－菅野上	0.5	0.2	0.2
	⑰市立病院－菅野上	1.2	1.5	1.0
砂原線	⑱砂原－市立病院	0.3	0.7	0.4

※平均乗車密度とは、始点から終点まで常時バスに乗車している人数のことです。

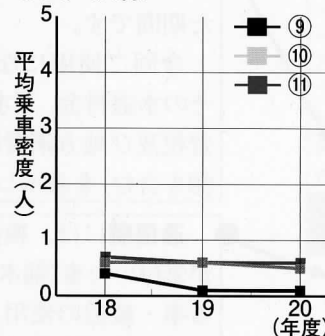
○都留・月夜野線



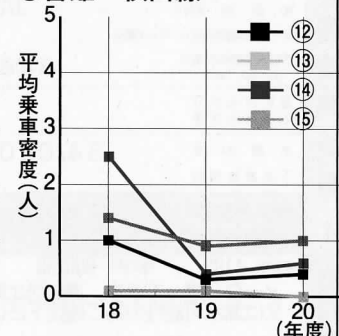
○宝鉾山線



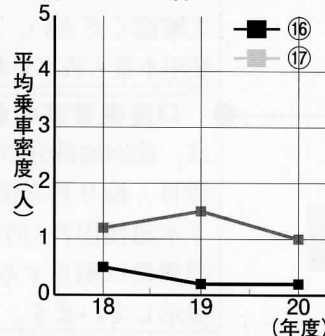
○上戸沢線



○曾雌・秋山線



○菅野・道志線



○砂原線

